



## テーマ 外国にルーツを持つ子どもたち <sup>Part</sup> 1

外国出身のおとなりさんやお友だちはいませんか？

**仙台市の外国人人口は、1万人以上。\***

多様な文化を持つ人たちが共に暮らす、「**多文化共生**」のまちづくり、  
あなたのご近所でも始めてみませんか？

第4号

企画・発行  
仙台観光国際協会  
センティア SenTIA



ジュンゴの  
たぶんか  
探検記

### 友だちと楽しく！日本語を学ぼう！

今回は、仙台市青葉区一番町で開催されている子どものための日本語講座におじゃましました。さまざまなルーツを持つ子どもたちが、ボランティアの先生たちと一緒に楽しく日本語を勉強していました。 → 本編は2ページへ



取材  
メモ



#### こどものための日本語講座「さっと日本語クラブ」

毎週土曜日に開催される、外国にルーツを持つ子どもたちが通う日本語講座です。

場所は市中心部にある仙台市青葉区中央市民センター。NPOの日本語講師や学生ボランティアが、子どもたちの日本語学習や、学校での宿題などを手伝います。毎回15名程度の子どもたちが楽しく学んでいます。

「さっと」の由来は、「サタデー（土曜日）」と「日本語を、さっと、覚えよう！」から来ているそう。

\* 2016年12月末現在 仙台市の外国人住民数 12,113人（仙台市交流企画課 資料）

# ジュンコの たぶん探検記

④ 外国にルーツを持つ子どもたち(その1)  
佐藤ジュンコ

夏休み明けの8月、ようやく小学校に編入

しかし飛びかっ生の日本語はちんぷんかんぷん

日本の学校って、どんなところかな

早く友だちができてほしいね

バアンくんも自分から手を上げて

岸辺の長さと

みんなの前で発表をしています

バアンくんは市内の小学校の5年生

ベトナム生まれです

得意だった算数も教科書が読めな...!

困ったなあ

授業が全くわかりませんでした

ベトナム出身と聞いて、とほんどいかわらないですね

担任 角田先生

授業を見学した後

しかし一年半前にさかのぼると

大々な苦学があったそうです

お父さん、お母さん、妹の4人暮らし

お父さんは大学で医学の研究をしています

でもまずはあいつのバアンくんをおはよう! オオハヨウ! コガイマス

ハイ...

そして休み時間の外あそび

そこで、お母さんが通っていた日本語教室で

子どもを早く学校に通かせたいのです

先生に相談して

小学4年生の春

ベトナムから仙台へ家族で引っ越し

バアンくんのクラスにおいままして授業を見学しました

仲よしの友だちができて、一緒に児童館に行ったり

お互いの家に遊びに行ったりするように

外国人の子どもたちをサポートする教室で

基礎的な日本語を勉強

外国人の子どもサポットの会

ベトナムの友だちと遊べるのは、嬉しいですね

いまは「LINE」を使ってベトナム語でやりとりしているみたい

バアンくんのお母さんは、まだ赤ちゃんの女の子を産んでしまった

いまでも土曜日は「ずっと日本語クラブ」へ

小学生から高校生まで、外国にルーツのある子どもが日本語を勉強します

河田先生

5年生の現在は... 今の日本の社会を学ばないと...!

うん、わかった!

クラスメイトとの会話も自然になあ

ベトナム語の勉強ももっとしたい!

ベトナム語も日本語も、両方勉強できるかな

えー何?!

友だちとサッカークラブに入って練習に参加したり

夏まつりなど、市内の行事に参加したり

子どもたちも大々な苦学をされているのですね!

親の都合で、言葉も習得も異なる場所で生きていくのはとても大変!

わからない日本語があっても、まわりの子が気づいて、そっと教えてあげるそう

意味だよ

学校のことを楽しそうに話してくる

女の子は、科目は? 算数と体育!

はにかんだ竹角が、とてもまぶしくて

習い事や食事の習慣も、楽しんでいるよう

給食が大好きで、私の作るベトナム料理よりもよく食べてるみたい!

よかったけど、お母さんは、さみしいですね

同じ環境の子どもが週に一回集まる教室は

冬休みはどうだった? 楽しかった!

緊張がほぐれてリラックスして過ごせる時間

子どもたちも、気配りができるようになり、なりますね

いいクラスだね

クラスメイトも、くとして成長して、よい作用があり、うれしいです

バアンくんも同じ環境の子どもたちの抱える困難が、少しも減りますように...!

またね!

二の巻、文化の違いを乗り越えて

僕が教えた日本の歌

上手!

どんどん成長しています

日本語を学ぶ近道はあるのでしょうか?

やはりなるべく早く学校に入って、日本の子どもたちとたくさんふれあうことだと思います

授業でわからないところは、家で自主的に勉強して、バアンくんも、奴力を続けています

佐藤ジュンコ：イラストレーター。福島生まれ、福島育ち、仙台暮らし。著作に、宮城県内の見所を紹介する「マッチ箱マガジン」シリーズ（佐々木印刷所）、『佐藤ジュンコのひとり飯な日々』（ミシマ社）、『月刊佐藤純子』（ちくま文庫）。現在、月刊誌「PHPスペシャル(PHP研究所)」、ウェブマガジン「みんなのミシマガジン」（ミシマ社）、河北新報夕刊「街で会いましょう」等で連載中。

# さっと日本語クラブ



2004年6月から始まった子どものための日本語講座「さっと日本語クラブ」。毎週土曜日、市中部の青葉区中央市民センターに、さまざまなバックグラウンドの子どもたちが集まります。来日したばかりで日本語がまだ話せない外国出身の子ども、日本国籍だが外国で生まれ育った子ども、日本生まれで会話は得意だが学習用語が苦手な子どもなど、一人一人事情が異なります。

## 言葉がわからない国で頑張る子どもたち

「初めはみんな緊張してやっできます。硬い表情をして、なかなか周りに馴染めない子どもいます。突然言葉がわからない国に連れて来られるのだから大変ですね。大人は自分の意志で日本の生活を始めますが、子どもたちは違います」と話すのは、さっと日本語クラブで日本語指導をする河田さん。

「ただ、子どもたちは吸収も早い。学校で日本の子どもたちと過ごす中でどんどん日本語を覚えて、表情も明るくなっていきます。1年たったら、ほかの子どもたちとふざけあったりして、手がつけれない。その成長を見るのが私たちの喜びでもあります」

毎回の教室にやってくる子どもたちの数は15名程度。小学校低学年、高学年、中学生とグループに分かれ、3人の先生たちがそれぞれの子どものレベルにあった教材

を使って指導します。大学生のボランティアがサポートに入ることも。日本語学習に加えて、学校の宿題やドリルなどを使って、教科学習も手伝います。時には勉強だけでなく、子どもたち同士で触れ合うアクティビティも行います。

## 将来は国際交流の懸け橋に

先生の一人である熱海さんは、「いろいろな子どもたちがいて私たちも毎週楽しく教えています。子どもたちは、自分のルーツの文化と日本の文化、どちらも持っています。今は大変でも、大きくなった時にそれを強みにして国際交流の懸け橋になってくれると嬉しい」。

平日に通う学校では、外国にルーツを持つ子は教室で自分だけ、という子どもたちも少なくありません。そんな子どもたちも、週に1回、同じ境遇の子どもたちと過ごすことで「私だけじゃないんだ」という安心を得ることが出来る貴重な場になっています。



## 外国にルーツを持つ子どもが学校に来たら

### サポート制度を利用

仙台市教育委員会では、通訳支援や日本語指導の必要な児童・生徒のために「外国人子女等指導協力者派遣制度」を設けています。1回のサポートは2時間、最大30回ですが、宮城県国際化協会の類似事業を利用することでさらに10回派遣ができます。教育指導課に問い合わせしてみてください。

就学年齢の子どもたちにとつて、学校教育は成長に欠かせない重要な要素です。外国籍の子どもは日本の義務教育の対象外ですが、本人と保護者が希望すれば教育を受ける権利があります。日本語ができない子どもを受け入れる場合、学校側も不安があると思いますが、早期に環境を整え、子どもの就学期間にブランクが生まれなないように、なるべく早く受け入れましょう。

日本育ちで会話力に問題がなくても、学習言語が身につけていない子どもたちもいます。そのような場合も相談してみてください。

家族もサポート  
外国人保護者にとつて、学校から毎日届く「おたより」を読むのは大変です。PTAや子供会、地域行事などを理解するのも難しいでしょう。同じクラスの保護者やご近所同士で、学校や地域で孤立しがちな外国人保護者をサポートしましょう。

こどものための日本語講座

## さっと日本語クラブ

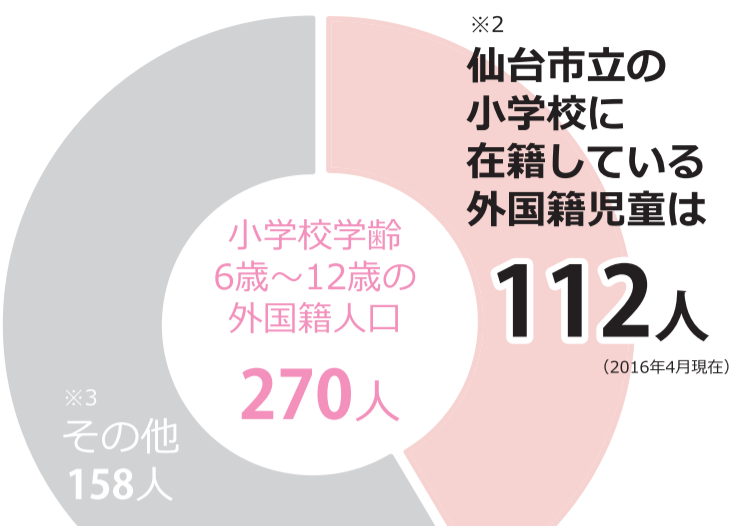
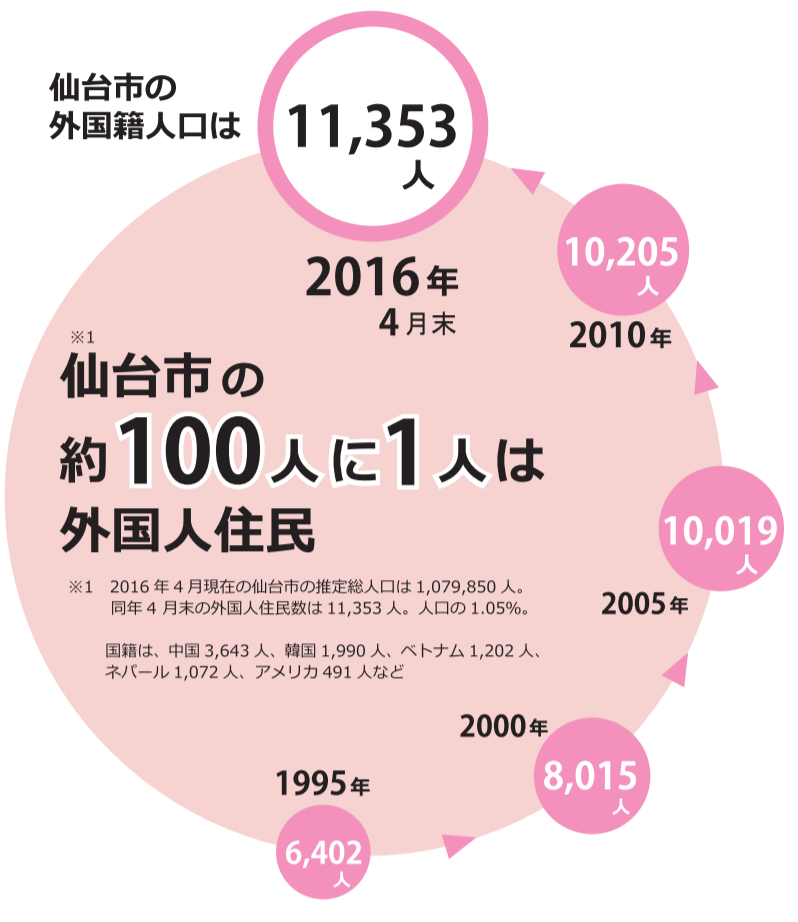
開催日 5月から2月 毎週土曜日  
※夏休み、冬休み期間は休み  
時間 午前10時から12時まで  
場所 仙台市青葉区中央市民センター  
(仙台市青葉区一番町2-1-4)  
講師 NPO法人ICAS  
国際都市仙台を支える市民の会  
費用 前期500円、後期500円  
申込 青葉区中央市民センターで受付  
電話 022-223-2516  
※月曜、祝日の翌日は休館



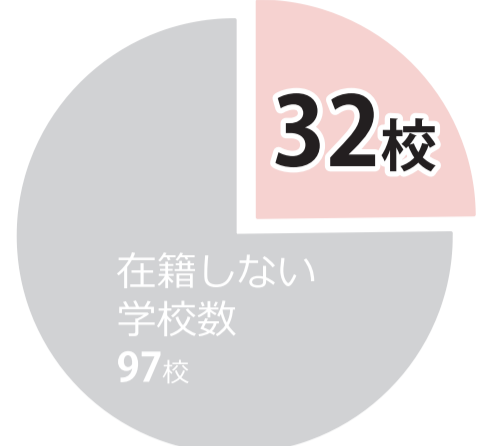
# センティアは、外国にルーツを持つ子どもたちをサポートします



仙台には、外国にルーツを持つ小学生(児童)はどのくらいいるの？



※4 外国籍児童が在籍する仙台市立の小学校数は (2016年4月現在)



※4 市立小学校の1/4には、外国籍児童が在籍。国見小学校、八幡小学校、茂庭台小学校、片平丁小学校等に多く在籍し、あとは点在している。



※5 「外国人子女等指導協力者派遣制度」通訳支援や日本語指導の必要な児童・生徒のためにボランティアを派遣する。実際は支援が必要だが、派遣されていないケースもあると思われる。

「外国籍」児童の統計はありますが、日本国籍で外国にルーツを持つ児童の人数までは把握できていません

**SenTIA 「センティア」とは？**  
Sendai Tourism, Convention and International Association

(公財) 仙台観光国際協会の略称です。センティア国際化事業部では、言葉や習慣の異なる外国人住民や外国にルーツを持つ人たちが安心して暮らせる多文化共生のまちづくりのため、さまざまな事業を行っています。

※2015年4月、仙台国際交流協会(SIRA)と仙台観光コンベンション協会(STCB)が統合し、仙台観光国際協会(SenTIA: Sendai Tourism, Convention and International Association)が設立されました。

外国にルーツを持つ子どもたちの支援に役立つツールがあります

**SenTIA 冊子「日本の小学校」**

外国にルーツを持つ子どもたちの保護者向けに、日本の小学校生活を紹介するための資料です。英語、中国語、韓国語版があり、日本語を併記しています。仙台国際センター交流コーナーで配布しています。センティア国際化事業部のHPからもダウンロードできます。  
<http://int.sentia-sendai.jp/>

**文部科学省ウェブサイト「かすたねっと」**

外国につながるの児童・生徒の学習を支援する情報検索サイトです。多言語による文書や日本語指導、特別な配慮をした教科指導のための教材等、様々な資料を検索することができます。  
<http://www.cast-net.jp/>

仙台国際センター交流コーナーでは、通訳サポートや相談対応をしています

仙台国際センター1階の「交流コーナー」では、7言語の通訳サポート電話(英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語、ポルトガル語)や付き添いボランティアの派遣などを行っています。どなたでも無料で利用できます。

【通訳サポート電話】022-224-1919 (9:00am ~ 8:00pm)  
【各種相談の電話】022-265-2471 (9:00am ~ 8:00pm)

仙台国際センター交流コーナー (地下鉄「国際センター駅」そば)

外国にルーツを持つ子どもたちの相談は > センティア国際化事業部へ  
電話 : 022-268-6260 FAX : 022-268-6252  
Email : plan@sentia-sendai.jp  
住所 : 仙台市青葉区大町2丁目2-10 仙台青葉ウイングビルA棟11階

通訳・各種相談は > 仙台国際センター交流コーナーへ  
電話 : 022-265-2471 FAX: 022-265-2472  
住所 : 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内